

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 5 区分
 【発行日】平成 21 年 1 月 15 日 (2009.1.15)

【公表番号】特表 2008-524459 (P2008-524459A)
 【公表日】平成 20 年 7 月 10 日 (2008.7.10)
 【年通号数】公開・登録公報 2008-027
 【出願番号】特願 2007-546686 (P2007-546686)
 【国際特許分類】

D 2 1 F 7/08 (2006.01)

D 0 3 D 1/00 (2006.01)

D 0 6 H 5/00 (2006.01)

【F I】

D 2 1 F 7/08

D 0 3 D 1/00 D

D 0 6 H 5/00

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 11 月 17 日 (2008.11.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

布の 2 つの対向する端部間に拡がる、複数のクロス機械方向 (C D) 系及び複数の機械方向 (M D) 系から作られる織りパターンを有する布本体を含む織り布であって、

前記 M D 系は継ぎ目領域で 3 つ以上の C D ピン又はピントルの周りをループするものであり、

前記継ぎ目領域における織りパターンが前記布本体における織りパターンとごく一致するように継ぎ目を作製することができるように、前記織り布は、

前記ピントルのうち第 1 のものの周りをループしている対向の布の端部から M D 系の第 3 の列に隣接している、前記第 1 のピントルの周りをループする M D 系の第 1 の列と、

前記ピントルのうち第 2 のものの周りをループしている対向の布の端部から M D 系の第 2 の列に隣接している、前記第 2 のピントルの周りをループする M D 系の第 2 の列と、

前記ピントルのうち第 3 のものの周りをループしている対向の布の端部から M D 系の第 1 の列に隣接している、前記第 3 のピントルの周りをループする M D 系の第 3 の列と、
 から構成されている、織り布。

【請求項 2】

C D 系の単一層を含む請求項 1 の布。

【請求項 3】

織りパターンが、非対称又は対称である請求項 1 の布。

【請求項 4】

M D 系は、布前面上の長いフロート及び背面上の短い折り角を定義し、あるいは布背面上の長いフロート及び前面上の短い折り角を定義し、あるいは一方又は他方又は両方を定義する請求項 1 の布。

【請求項 5】

前記布は、工業用布である請求項 1 の布。

【請求項 6】

ピントルはＣＤ系と同一直径又は非同一直径である請求項１の布。

【請求項７】

ＭＤ系とＣＤ系は、円形断面又は非円形断面である請求項１の布。

【請求項８】

布本体から逸脱する継ぎ目領域のループが切り詰められている請求項１の布。

【請求項９】

布本体を作製するために布の２つの対向する端部間に広がる、２層の複数のクロス機械方向（ＣＤ）系と複数の機械方向（ＭＤ）系とからなる織り布であって、
継ぎ目領域における織りパターンが布の織りパターンとごく一致するよう継ぎ目を作製することができるように、前記織り布は、

継ぎ目領域にある少なくとも４つのピントルと、

ＭＤ系の第１の列と、

前記第１の列に隣接しているＭＤ系の第２の列と、

から構成されており、

前記ピントルのうち第１及び第３のものはＣＤ系の第１層の方向及び平面に隣接して配置され、前記ピントルのうち第２及び第４のものはＣＤ系の第２層の方向及び平面に隣接して配置されており、

前記ＭＤ系の第１の列は一方の布端部にある第１及び第２のピントルの周り、他方の布端部にある第３及び第４のピントルの周り、とをループしており、

前記ＭＤ系の第２の列は一方の布端部にある第３及び第４のピントルの周り、他方の布端部にある第１及び第２のピントルの周り、とをループしている、織り布。

【請求項１０】

織りパターンが、対称である請求項９の布。

【請求項１１】

ＭＤ系は、布前面上又は背面上、あるいは一方又は他方又は両方の上に、長いフロート又は短い折り角を定義する請求項９の布。

【請求項１２】

前記布は、工業用布である請求項９の布。

【請求項１３】

ピントルは、ＣＤ系と同一直径又は非同一直径である請求項９の布。

【請求項１４】

ＭＤ系とＣＤ系は、円形断面又は非円形断面である請求項９の布。

【請求項１５】

布本体から逸脱する継ぎ目領域のループが切り詰められている請求項９の布。